

1月 給食だより

謹賀新年

新年を迎え、気持ちも新たに3学期が始まりました。冬休み中に生活リズムが乱れてしまった人はいませんか？寒くて起きるのがつらい時期ですが、早寝・早起き・朝ごはんで生活リズムを整えましょう。

今年はおさげ年



1月24日～30日は 全国学校給食週間です 学校給食について知ろう! ①

学校給食は、単なる食事ではなく、栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康によい食事のとり方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなどを学ぶための教材となるものです。現在ではさまざまな教育的効果が期待される学校給食ですが、もともとは、おなかをすかせた子どもたちのために、学校で昼ごはんを提供したことが始まりでした。学校給食がたどった歩みを見てみましょう。

学校給食の始まり

日本の学校給食は、1889(明治22)年、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある私立忠愛小学校で、貧しい家庭の子どもたちに食事を用意したことが始まりとされています。その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するために各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

<p>明治 22 年ごろ</p> <p>おにぎり 塩ザケ 漬物</p>	<p>大正 12 年ごろ</p> <p>五色ごはん 栄養みそ汁</p>	<p>昭和 17 年ごろ</p> <p>すいとんのみそ汁</p>
-------------------------------------	-------------------------------------	----------------------------------

1月24日～30日は 全国学校給食週間です 学校給食について知ろう! ②

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、その後、冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



<p>昭和 22 年ごろ</p> <p>ミルク(脱脂粉乳) トマトシチュー</p>	<p>昭和 27 年ごろ</p> <p>コッパン ミルク(脱脂粉乳) ミル肉の竜田揚げ せん切りキャベツ ジャム</p>
---	--

昭和25年に、アメリカから寄贈された小麦粉でパンが作られ、「パン・ミルク・おかず」の完全給食が始まりました。

学校給食は教育活動に

1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

<p>昭和 40 年ごろ</p> <p>ソフトめん ミートソース 牛乳 フライボテ 黄桃</p>	<p>昭和 51 年ごろ</p> <p>カレーライス 牛乳 お塩もみ ゆで卵</p>
--	--

昭和30年代後半には脱脂粉乳のミルクが牛乳へと切り替わり、コッパン以外のパンやソフトめんなど、主食の種類が増えていきました。米飯が正式に導入されたのは昭和51年のことです。

給食の歴史を振り返ってみると、今では当たり前前に食べている給食も、そうではなかった時代があったことが分かりました。全国学校給食週間中の給食では、最初の給食をイメージした献立(24日)、給食が始まった山形県や東北地方の郷土料理(24・26・30日)、東京都の地場産物を使用した献立(25日)、なつかしの給食(27日)を提供します。みなさんも、この機会に給食について改めて考えてみませんか？